



S.Setoguchi

## THE KYOTO HIGH-JUMP

## 第26回 京都ハイジャンプ (J・GII)

1着 2着 3着 4着 5着  
本賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円  
付加賞 350,000円 100,000円 50,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳59<sup>kg</sup>・5歳以上60<sup>kg</sup>、牝馬2<sup>kg</sup>減、J・GⅠ競走1着馬2<sup>kg</sup>増、J・GⅡ競走1着馬1<sup>kg</sup>増

2024.5.11 京都 晴・良 芝3930m (混合)

| 着順 | 馬番 | 馬名        | 性別 | 年齢 | 斤量 | 騎手    | タイム<br>(着差) | コーナー<br>通過順位 | 平均<br>1ハロン | 馬体重<br>(増減) | 単勝<br>オッズ | 調教師       |
|----|----|-----------|----|----|----|-------|-------------|--------------|------------|-------------|-----------|-----------|
| 1  | ⑥  | サンデビス     | 牡  | 6  | 60 | 上野 翔  | 4:31.0      | 4-3-2-2      | 13.8       | 500(+6)     | 10.8⑥     | 村田一誠(美浦)  |
| 2  | ③  | ヴァリアメンテ   | 牡  | 6  | 60 | 西谷 誠  | 5           | 3-3-4-4      | 13.8       | 482(+4)     | 6.9⑤      | 中内田充正(栗東) |
| 3  | ②  | アサクサゲンキ   | 騾  | 9  | 60 | 小牧加矢太 | 5           | 2-2-3-3      | 13.9       | 478(+12)    | 4.1②      | 音無秀孝(栗東)  |
| 4  | ⑩  | メイショウアツイタ | 牡  | 6  | 60 | 森 一馬  | 3           | 7-8-6-5      | 13.9       | 508(+4)     | 26.4⑧     | 高橋義忠(栗東)  |
| 5  | ⑦  | スワンブナート   | 騾  | 5  | 60 | 小野寺祐太 | クビ          | 10-10-10-9   | 13.9       | 514(-2)     | 5.8④      | 坂口智康(栗東)  |
| 6  | ④  | トライフォーリアル | 騾  | 7  | 60 | 五十嵐雄祐 | 2½          | 7-8-7-7      | 13.9       | 492(+2)     | 3.8①      | 萩原 清(美浦)  |
| 7  | ①  | ザメイダン     | 牡  | 8  | 60 | 石神深一  | 2           | 1-1-1-1      | 13.9       | 496(-8)     | 17.7⑦     | 新開幸一(美浦)  |
| 8  | ⑨  | メイショウハチク  | 騾  | 10 | 60 | 中村将之  | ½           | 5-5-5-5      | 13.9       | 482(+4)     | 131.3⑩    | 安達昭夫(栗東)  |
| 9  | ⑤  | サクセッション   | 騾  | 7  | 60 | 伴 啓太  | 10          | 7-5-9-8      | 14.0       | 518(-6)     | 4.3③      | 国枝 栄(美浦)  |
| 10 | ⑧  | ラジエール     | 騾  | 6  | 60 | 大江原圭  | 3½          | 6-5-7-9      | 14.1       | 496(-2)     | 87.9⑨     | 小笠倫弘(美浦)  |

単勝⑥1,080円(6<sup>kg</sup>) 複勝⑥240円(6<sup>kg</sup>) ③200円(5<sup>kg</sup>) ②170円(2<sup>kg</sup>) 格連③-⑥4,410円(15<sup>kg</sup>)

馬連③-⑥3,610円(16<sup>kg</sup>) ワイド③-⑥1,020円(16<sup>kg</sup>) ②-⑥930円(14<sup>kg</sup>) ②-③590円(10<sup>kg</sup>)

馬単③-⑥7,330円(35<sup>kg</sup>) 3連複②-③-⑥4,850円(20<sup>kg</sup>) 3連単⑥-③-②42,680円(168<sup>kg</sup>)



上り1マイル: 1:48.9 上り: 800<sup>kg</sup> 600<sup>kg</sup>  
54.3 - 39.9

### アラカルト

- ・上野翔騎手は京都ハイジャンプ初勝利。JRA重賞はケイティクレバーで制した22年東京ジャンプSに続く通算2勝目
- ・村田一誠調教師は21年の厩舎開業以来JRA重賞初勝利
- ・ジョーカブチーノ産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・6歳馬の勝利は17年マドリードカフェに続く通算9回目
- ・関東馬の勝利は19年シゲルヒノクニに続く通算2回目

## 地サンデイビス Sun Davis

牡 芦毛 2018.5.16生  
北海道日高町 株式会社ケイズ生産  
馬主・株加藤ステーブル 美浦・村田一誠厩舎  
馬名意味・太陽+アメリカの都市

|                     |                       |                            |
|---------------------|-----------------------|----------------------------|
| ジョーカブチーノ<br>芦毛 2006 | マンハッタンカフェ<br>青鹿毛 1998 | サンデーサイレンスUSA<br>サトルチェンジIRE |
|                     | ジョーブシケ<br>芦毛 2000     | フサイチコンコルド<br>ジョーユーチャリス     |
|                     | アドマイヤムーン<br>鹿毛 2003   | エンドスウィープUSA<br>マイケイティーズ    |
| ピントウハティ<br>鹿毛 2009  | シーサイドエンゼル<br>栗毛 1991  | ジャツジアンジェルーチUSA<br>シャダイハマナス |

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4

## INTERVIEW

加藤天明社長(株式会社ケイズ)

### 重賞を勝つことは想像していませんでした

当牧場では1歳の後期育成中、筋肉の発達を促す目的で障害練習を取り入れています。2勝クラスで成績が伸び悩んだため障害に転向しましたが、重賞を勝つような活躍は想像していませんでした。五十嵐騎手、上野騎手ともにこの馬は距離が長ければ長いほどいいと言ってくれていますので、これからも無事に、暮れの中山を目標にがんばってほしいと思います。

S.Naka



ながら豊富なスタミナを誇る芦毛馬が、障害界の新星に名乗りをあげた。

右手への移籍を経て中央へ再転入、1勝クラス特別を勝ち上がった本馬は昨年1月に障害へ転身し、2戦目に初勝利を記録。昇級後はしばらく、クラスの壁に跳ね返される走りが続いたものの、6歳を迎えてからは一戦ごとにレースの内容が良化し、2月のオープン戦で2勝目をマークした。ベガサスジャンプS(3着)を挟んで重賞に挑んだこの日は堂々の圧勝劇を演じ、開業4年目の村田一誠調教師に初の勲章をプレゼント。ジョーカブチーノの産駒ながら豊富なスタミナを誇る芦毛馬が、障害界の新星に名乗りをあげた。

### 父ジョーカブチーノ

北海道浦河町 ハッピーネモファーム生産 中央23戦6勝(NHKマイルC<sub>1</sub>、シルクロードS<sub>6</sub>、ファルコンS<sub>6</sub>、ラピスラズリS<sub>0</sub>、スワンS<sub>6</sub>2着、京王杯スプリングC<sub>6</sub>3着、スワンS<sub>6</sub>3着、ニュージーランドトロフィーC<sub>6</sub>3着)、13年から供用

〔代表産駒〕**ジョーストリクトリ**(ニュージーランドトロフィーC<sub>6</sub>)、**ナムラリコリス**(函館2歳S<sub>6</sub>)、**キタノリュウオー**(師走S・L)、**サンデイビス**(本馬)、**シナモンスティック**(キーンランドC<sub>6</sub>2着)、**ジョーアラピカ**(京阪杯C<sub>6</sub>3着)、**ジョーマンデリン**(函館スプリントS<sub>6</sub>3着)、**マイネルパールマン**(端午S<sub>0</sub>)、**コスモイグローク**(すずらん賞<sub>0</sub>)、**サイダイゲンカイ**(栄冠賞)

### 母ピントウハティ

北海道日高町 加藤ステーブル生産 地方44戦4勝

サンワラワラ(15 牝父グラスワンダーUSA)中央4戦0勝、地方77戦10勝

フクノナルボンヌ(16 牝父ディープリランテ)中央25戦2勝

サンデスヴァレー(17 牝父ワールドエース)中央6戦0勝、地方28戦1勝

**サンデイビス** 本馬(18 牝父ジョーカブチーノ)中央21戦1勝(二本松特別)、障害9戦3勝(京都ハイジャンプJ・C<sub>6</sub>)、地方4戦4勝 獲得総賞金97,890,000円

フクノバルトラン(19 牝父ワールドエース)中央2戦0勝、地方25戦8勝

サンウリエル(21 牝父ディーマジェスティ)中央8戦0勝 ㊟

ハイアップグレード(22 牝父ディーマジェスティ)

(24 牝父ヘンリーパローズ)

※20(死産)、23(前年種付せず)

### 祖母シーサイドエンゼル

北海道早来町 社台ファーム生産 中央0勝。12年死亡

サルサクイーン(99 牝父リンドシェーバーUSA)地方2勝(東京プリンセス賞、桜花賞・浦和2着、東京2歳優駿牝馬3着)、**サルサディオネ**(さきたま杯J<sub>6</sub>Ⅱ、日本テレビ盃J<sub>6</sub>Ⅱ、スパーキングレディーC・J<sub>6</sub>Ⅲ、クイーン賞J<sub>6</sub>Ⅲ、マリーンC・J<sub>6</sub>Ⅲ、NAR4歳以上最優秀牝馬3回)、**サルサレリア**(クイーン賞J<sub>6</sub>Ⅲ3着)の母

ムギワラボウシ(00 牝父シャーディーUSA)中央1勝、地方2勝(東京2歳優駿牝馬3着)

ブレイズワン(03 牝父ブラックタキシード)中央4勝(名古屋日刊スポーツ杯、

英彦山特別、浄土平特別)

ピントウハティ(09 前出)

## 地力を強化した6歳馬が堂々の圧勝

中山ランドジャンプからの転戦組が不在ということもあり、混戦ムードに包まれた京都ハイジャンプ。人気は昨年2着の実績を高く評価されたトライフォーリアルを筆頭に、障害重賞2勝の古豪アサクサゲンキ、昨夏の新潟ジャンプSをレコードで制したサクセ

た2番手で折り合いに専念し、隊列が定まる。スタンド前の連続障害に差し掛かるとトライフォーリアルが3番手になり、サンデイビスの上野翔騎手は直後の中団を追走。前半のいけ垣障害で躓いたサクセセッションは馬群の後方で末脚を温存した。

名物の三段跳び、スタンド前の連続障害を再び経て、レースはいよいよ終盤へ。向正面から追撃にかかった上野騎手は、一緒に進出したアサクサゲンキを4コーナーの最終障害で突き放して前に接近、直線入口で力尽きたサメイダンをかかわして先頭へ躍り出る。余力を十分に残していたサンデイビスは抜け出してからもしっかりとした末脚を發揮。2着に追い込んだヴァリアメンテに5馬身差をつけ、悠々とゴールを駆け抜けた。

右手への移籍を経て中央へ再転入、1勝クラス特別を勝ち上がった本馬は昨年1月に障害へ転身し、2戦目に初勝利を記録。昇級後はしばらく、クラスの壁に跳ね返される走りが続いたものの、6歳を迎えてからは一戦ごとにレースの内容が良化し、2月のオープン戦で2勝目をマークした。ベガサスジャンプS(3着)を挟んで重賞に挑んだこの日は堂々の圧勝劇を演じ、開業4年目の村田一誠調教師に初の勲章をプレゼント。ジョーカブチーノの産駒ながら豊富なスタミナを誇る芦毛馬が、障害界の新星に名乗りをあげた。